

夢育那須通信

～You make Nasu～

第4回

町教育委員会では、「夢・感動あふれる人づくり」という教育方針の下、学校・家庭・地域と、一丸となって「夢ある子どもを育む那須の教育」を推進しています。その取り組みや活動の様子を8回シリーズでお伝えします。



コミュニティ・スクールの推進

町は「夢ある子どもを育む那須の教育」の理念のもと、コミュニティ・スクールを推進しています。これにより、今まで以上に地域と学校による協働活動が盛んになり、地域全体で子どもを育てる機運が高まってきています。

今年、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、各地のコミュニティ・スクール事業が中止、延期となつていきます。一方、町では地域教育コーディネーターや地域ボランティアの協力により、環境整備や農園活動など、コロナ禍の中でもできる活動を実践してきました。それにより休業明けの学校では、子どもたちが安全に学校生活を送ることができたり、作物の収穫ができたりしています。

町には、地域の学校を「自分の学校」と思つて関わってくれる大人がいます。これからも同じ思いをもつ大人が増えていくようコミュニティ・スクールを推進していきます。



和い輪い学習フォーラムをリモートで開催



教育長の挨拶をリモートで視聴



密を避け、同じ方向を向いての熟議

9月11日、町の全小中学校を会場に、幼保小中高合同熟議「第10回和い輪い学習フォーラム」を開催しました。昨年末では文化センターが会場でしたが、今年は町内の各小中学校を会場にして、分散開催しました。

当日は各会場をリモートでつなぎ、教育長挨拶やフォーラム趣旨説明を見られるようにしました。その後、各会場一斉に熟議を実施し、最後にそれぞれの会場で話し合われたことを全体で共有しました。参加者からは、「私たちの子どものために、地域の方、先生方がたくさん協力してくださっていることに感謝です。地域のためにできることをしたいと思いましたが」「普段知ることができない地域の状況を聞くことができ、勉強になりました。地域の行事等に生徒が参加し、実りある学びができるようサポートをしていきたいです」といった前向きな感想を多くいただきました。本フォーラムが、参加者の当事者意識を高めるための一助になったことを実感しました。

町のコミュニティ・スクールは着実に進んでいます。これからも町民の皆さんとともに「地域とともにある学校づくり、学校を核とした地域づくり」を推進していきます。

NAISU(ナイス)タイム 防災教育



大田原土木事務所の職員による授業の様子

新教科「NAISUタイム」の3本の柱の一つ「防災教育」では、地域との関わり合いをおおして、地域特有の災害について学びます。過去の経験を風化させず防災教育を行ってきた自治体では、災害による被害が少なかったことが分かっています。

町もこれまでに幾度となく大きな災害を経験してきました。それらの経験を教科の中で学び、子どもたちの命は自分で守る「自助」と、地域の一人として何ができるかを考えて行動する「共助」の精神を育むことを目指しています。

こうした取り組みが、「縦に一貫教育、横にコミュニティ・スクール」の推進により、地域をあげた取り組みに広がることを期待しています。